

平成27年度 酒田市公益活動支援補助金 交付事業の概要

No.	団体名	事業名	事業目的・概要等	事業実施内容
1	VIPS（庄内観光ボランティア通訳グループ）	庄内観光ウェブサイトの作成	庄内の魅力を世界に発信し、訪れた外国人にも庄内の魅力を満喫してもらうため、外国人向けの庄内観光ウェブサイトの作成等行う。	庄内の主な観光地、体験場所、食堂、ホテル等の英語版のウェブサイトを作成し、歴史と文化、素晴らしい自然と食文化に恵まれている庄内を世界の多くの人々に発信した。
2	酒田方言あそび研究会	酒田方言の魅力を語り継ぐ 収集&伝承事業	地域の歴史・文化がつまった財産「酒田方言」の魅力を語り継ぐため、酒田方言の収集（声も）や啓蒙活動を行う。	「酒田方言データベース」の閲覧・登録をスマートフォン対応に改善し、約800語の単語を地域別・用途別に分類しながら収集することができた。また、出前講座は3回（3箇所）延べ80名の参加していただき、方言を次世代に伝えていくことの大切さを学ぶきっかけとなった。
3	みなみゆざコース	歌声きっさ	居場所作りと地域の世代間交流の場として歌声喫茶を開催する。	定期開催は11回、出張開催は8回（南遊佐老人クラブ4回、本楯サロン、市内介護施設等）行い、参加者の身体的、精神的健康を増進につなげた。
4	地域高齢者見守り隊	認知症に伴う徘徊高齢者の発見保護活動	警察と市役所と連携して、認知症の徘徊高齢者の発見保護のため、青色回転灯を点灯した車両により地域を巡回する。	徘徊高齢者を事件事故から守るため、警察・市役所等からの「やまがた110ネットワーク」によるメール配信手配により酒田市内に巡回し、行方不明者の早期発見に当たった。
5	にしあらせロコモ教室	にしあらせロコモ健康講座	ロコモ予防教室を開催し、運動機能の維持向上と定期的な外出先として地域に集う場所を創出する。	西荒瀬コミュニティセンターにて46回開催し、延べ1,217人（平均26名/1回）が参加し、運動機能の維持向上、健康に対する意識の向上が図られた。また地域のつどいの場の創出にもつながり参加者同士のコミュニケーションも図られた。
6	NPO法人 宮野浦未来創成会議 ホッととなる	演劇活動を通してのつながり復元事業	ひきこもりがちな小中学生を対象に演劇の指導（発表）を行い、人間関係の回復を目指す。	出演者の確保、地域住民の理解促進のため、演劇性のある「読み聞かせ」を行い、参加者には演劇の魅力を体感していただいた。参加者35人 出演者の確保ができず、演劇発表は開催できなかった。
7	NPO法人 みなと研究会	豊かな海づくりに繋ぐ 鮎保全事業	海の恵みに感謝し、海洋資源と人間社会の共生を再認識するため、鮎の環境型増殖保全の体験事業や地域に伝わる「鮎料理」づくりを行う。	森のセラピーづくり（出前講座）（20名）、産卵床づくりと鮎料理のつどい（15名）産卵床設置体験学習（7名）、鮎まつり&ボランティアフェスティバル（200名）産卵床引上げ（7名）を開催し、地産地消、循環型の海洋資源構築等の学習機会を提供した。
8	酒田港イベント実行委員会	第36回全国豊かな海づくり大会市民プレイベント～ぼうずコンニャクと海苔漁師の酒田魚市場を語る～	平成28年に山形県で開催される「豊かな海づくり大会」のプレイベントとして、酒田市市場の魚介類の特色や食べ方のワークショップ等を通して全国に酒田の食をPRする機会を創出する。	7/17酒田市市場の魚貝を市場魚貝類図鑑に掲載して全国に発信するためのデータベース化のための視察対応 7/18第36回全国豊かな海づくり大会IN山形プレイベント「ぼうずコンニャクと東京湾漁師が酒田魚市場を語る」を開催した。40名の参加者との意見交換もおこなわれた。

平成27年度 酒田市公益活動支援補助金 交付事業の概要

No.	団体名	事業名	事業目的・概要等	事業実施内容
9	リオーネ酒田U-15	サッカースポーツの振興	酒田地区のサッカーの普及のため、幼稚園児～中学生までの一貫指導をできる環境を整備する。	5月～46回 選手21名で練習会を開催し、競技力の向上と自立した選手の育成に努めた。(酒田地区サッカー協会主催Y3リーグ3位、1年生大会 優勝)
10	酒田珠算連盟	小学校におけるボランティア珠算指導	小学3,4年生を対象にそろばん学習の指導を行いそろばんの魅力を伝え、子供たちの計算力と集中力の向上を図る。	酒田飽海地区の小学校(3,4年生対象)に出前でそろばん学習の指導を行った。(24校、延べ39学年、55クラス、1263名)単に計算手段を習うだけでなく、古くから使われてきた道具を使って計算できる喜びや、歴史文化に触れる機会を与えられた。
11	かたりべ玉てばこ	心をつなげよう 歌の力 一わらべ歌と天神さんー	酒田の昔話を後世に伝え残すと同時に、読み聞かせや紙芝居をとおして廃れがちな「わらべ歌」や「昔話の歌」など次次の時代へ繋げる。	バス旅研修(23人)「歌の力と天神さんin鶴岡天満宮」の実施、そのほか昔話の歌やクイズ、絵かき歌、わらべ歌などを老人施設等で実施したり、浜中小学校の子どもと祖父母対象に金次郎について歌を混ぜながら楽しく学ぶなど、次世代へつなぐ活動を実施した。
12	NPO法人 きらりまめ・豆ネット	もっとゆったりストレッチ教室及び福祉担い手づくり	運動機能の維持向上のための軽体操教室の開催。さらに、介護予防教室担い手講座を実施し、地域福祉活動の人材育成を行う。	「もっとゆったりストレッチ教室」20回開催、延べ参加者235人、「まめ豆講座」(担い手講座)4回開催、参加者延べ68人。運動機能の維持向上、定期的な外出効果から集いの場として定着している。また、担い手育成講座では運動教室のサポーターとしての知識を学ぶとともに、地域活動者の交流も深めることができた。
13	酒田福祉住環境を考える会	愛着ある自宅・地域で暮らし続けるための住環境整備支援事業	介護保険を利用した住宅改修を行う施工業者の専門知識の向上を図るため、研修会を開催。また、研修内容のガイドブックを作成し配布することで、今後の住環境整備を推進する。	研修会2回延べ80名参加、ガイドブック100部作製し、研修会へ参加した建設業者や介護関係者、住宅改修の窓口となる介護支援事業所(包括支援センター)等に配布し、福祉住環境整備に活用につなげた。
14	エイエスエムトランスポート株式会社	酒田まつりPRにおけるラッピングトラック製作	酒田まつりのPRを効果的に行うため、ラッピングトラックを製作し、観光振興に役立て、地域活性化につなげていく。	トラックに酒田まつりのシンボルとなっている獅子頭、立て山鉾をモチーフとした斬新なデザインを施し広い地域で「酒田まつり」をPRできた。
15	CAP(キャップ)庄内	CAP(キャップ)庄内 公開連続講座「子どもの『今』を知り、おとなに出来ることを考える」	子どもへの暴力防止に対する大人の社会意識の向上、子どもの孤立の減少、子育て中の不安や悩みの緩和を目的とした研修会、茶話会を開催する。	ネット・ゲーム依存に関わる講演会を2回実施(延べ参加者30名)今子どもたちにとって深刻な問題に、大人が目を向けるきっかけとなった。茶話会は1回開催(20名参加)母親同士が本音で語り合いまた聴き合いながら「子どもにとっての安心」を一緒に考えることができた。